2011.11.07

2011年度第2四半期
決算補足資料

東洋紡績株式会社

決算のポイント

上期実績

■ 震災影響あるも、営業利益は予想を上回り、当期利益黒字化

- ➢環境、ライフサイエンス関連好調
- ➢新製品投入など、ポートフォリオ改革進展
- ➢液晶関連はディスプレー生産調整影響。自動車関連は震災影響

通期予想

■ 震災からの回復、ポートフォリオ改革効果は見込めるが、
経営環境の不透明度が増しており、営業利益220億円に据え置く

（億円）

	10年度			11年度		
	上期	下期		上期	下期(予)	
売上高	1,697	1,708	3,406	1,781	1,769	3,550
営業利益	109	99	209	110	110	220
当期純利益	−19	61	42	52	38	90

TOYOBO

Ⅰ．2011年度第2四半期決算概況

（1）決算概要

構造改革に区切りをつけ、当期純利益は大幅増益

（億円）

	10上	10下	11上			前年同期比		直近見通し
			Q1	Q2		金額	%	(2011/8)
売上高	1,697	1,708	872	909	1,781	+84	+4.9%	1,700
営業利益	109	99	57	54	110	+1	+0.9%	100
（営業利益率）	6.5%	5.8%	6.5%	5.9%	6.2%	－	－	
経常利益	89	81	55	46	101	+12	+13.4%	85
当期純利益	−19	61	29	23	52	+71	－	40
EPS（円）	−2.6	8.1	3.3	2.6	5.9	－	－	4.5
減価償却費	92	99	47	48	95	+3	+2.9%	
設備投資	54	85	39	33	72	+18	+32.5%	
営業CF	179	158	－	－	96	−83	−46.3%	
為替レート（円/US$）	89	82	82	78	80			
国産ナフサ価格（千円/KL）	46	49	59	55	57			

TOYOBO

（2）財務指標

財務体質は着実に改善

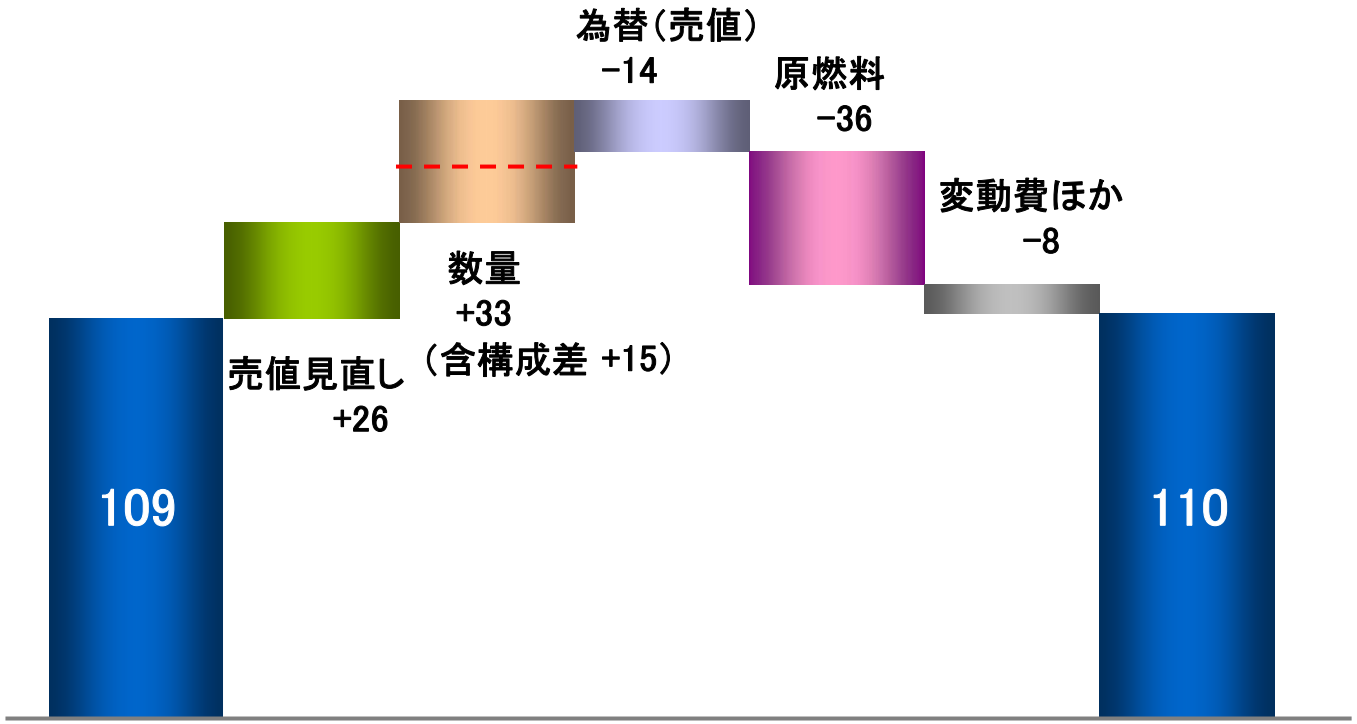
（億円）

	10/3末	11/3末	11/9末	11/3末比増減
総資産	4,384	4,435	4,379	−57
うち棚卸資産	625	660	740	+80
純資産	1,311	1,498	1,447	−51
自己資本	1,071	1,258	1,275	+18
（自己資本比率）	24.4%	28.4%	29.1%	−
少数株主持分	240	240	172	−68
有利子負債	1,710	1,518	1,509	−9
D/E レシオ	1.60	1.21	1.18	−
（営業利益ROA）	2.6%	4.7%	5.0%	

TOYOBO

（3）営業利益増減要因分析（前年同期比）

【10年度上半期→11年度上半期 】



（億円）

	10上	11上
円レート（¥/$）	89	80
国産ナフサ（千円/kl）	46	57

TOYOBO

（4）セグメント別

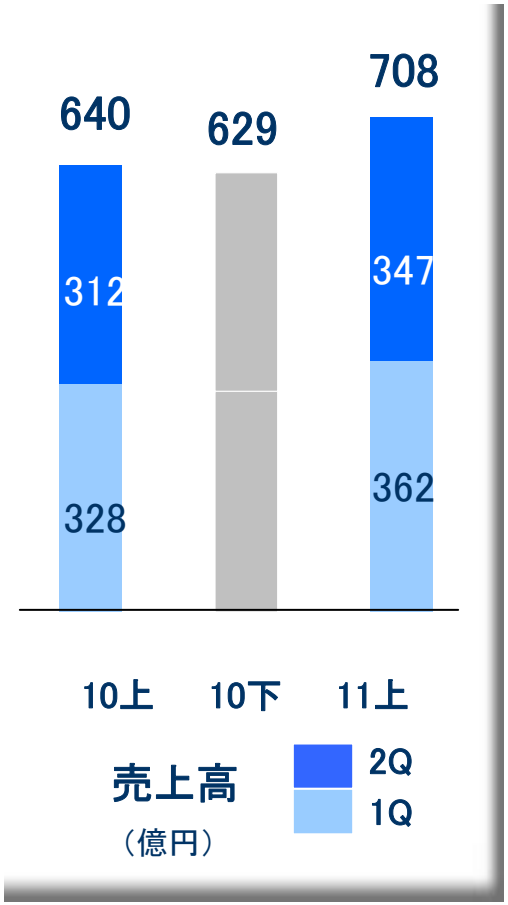
（億円）

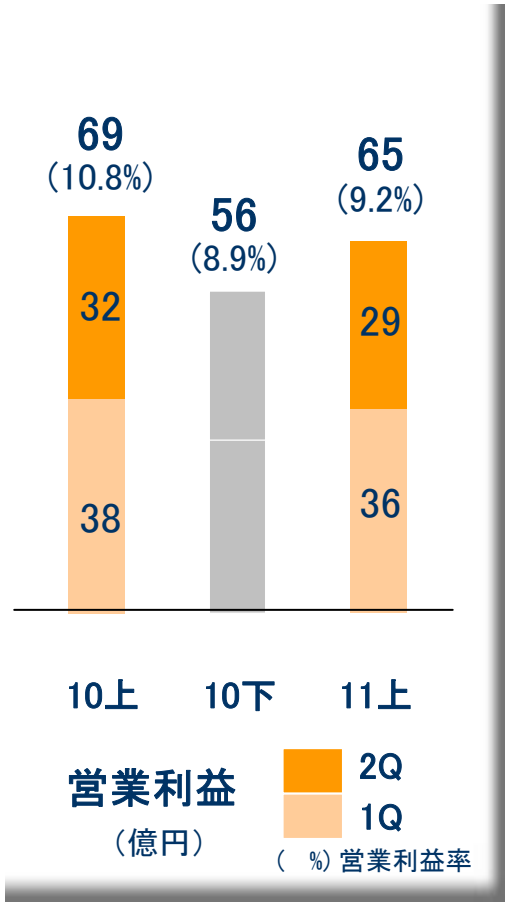
	売上高			営業利益		
	10上	10下	11上	10上	10下	11上
フィルム・機能樹脂	640	629	708	69	56	65
産業マテリアル	345	369	343	24	25	24
ライフサイエンス	149	165	156	17	20	16
スペシャルティ計	1,135	1,163	1,207	110	102	105
（営業利益率）				9.7%	8.7%	8.7%
衣料繊維	443	426	442	3	4	9
不動産・その他	120	120	132	12	11	11
消去・全社	－	－	－	−15	−17	−15
合　計	1,697	1,708	1,781	109	99	110

TOYOBO

(5)セグメント別　① フィルム・機能樹脂

液晶関連の需給軟化で、工業用フィルム苦戦
ポートフォリオ改革進展（フィルム、機能樹脂）

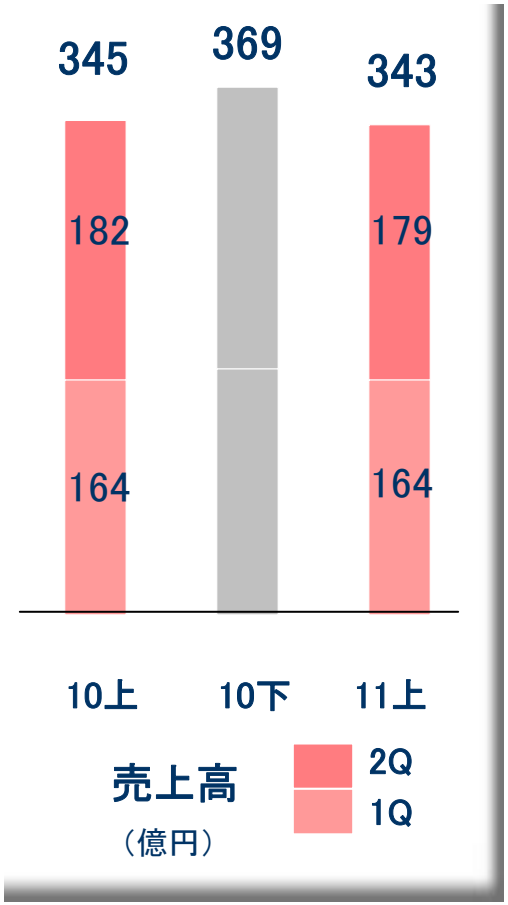


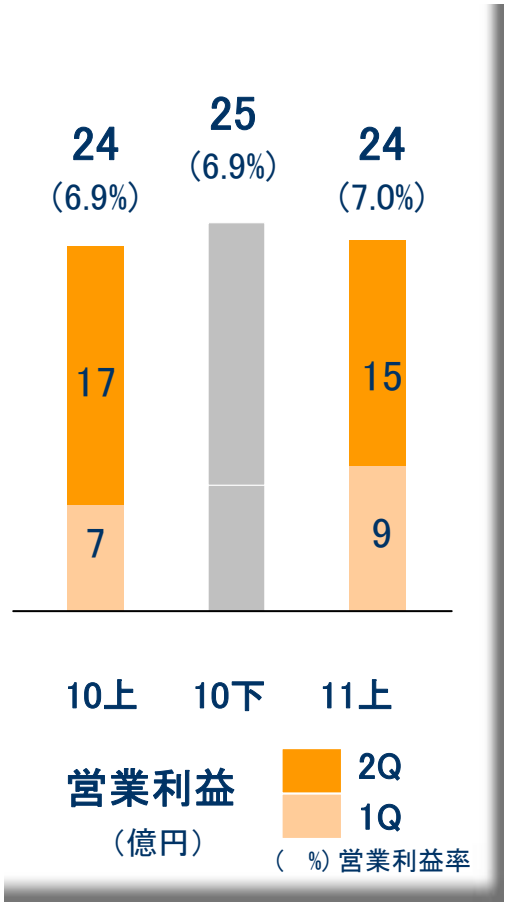


- **工業用フィルム**
  - LCD関連の輸出数量減
  - タッチパネル、セラコン向けは拡大
- **包装用フィルム**
  - 食品包装用は出荷堅調
  - 新シュリンクフィルム数量増も寄与
- **機能樹脂**
  - バイロンは海外売上拡大
  - エンプラは震災影響により数量減

② 産業マテリアル

自動車分野は震災影響大
環境関連フィルターは、好調に推移



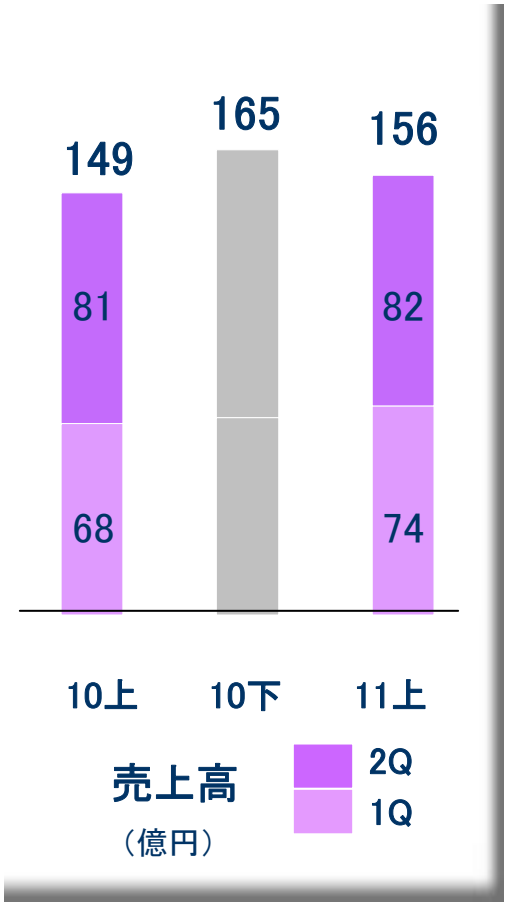


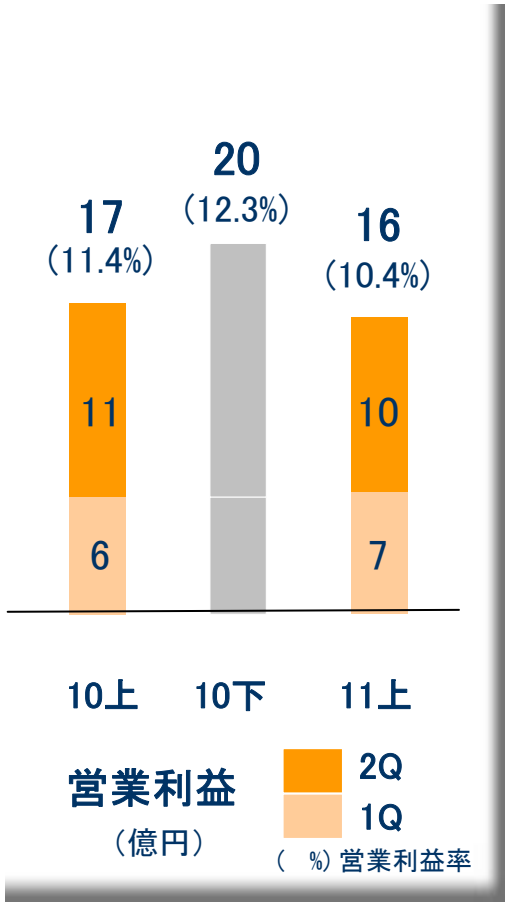
- **機能フィルター**
  空調用などフィルター出荷堅調
  VOC*処理装置も海外拡販進展
  ＊揮発性有機溶剤
- **エアバッグ**
  2Qから数量回復も、自動車減産の影響大
- **スーパー繊維**
  ダイニーマなど出荷堅調

TOYOBO

③ ライフサイエンス

為替影響あるも診断薬用酵素拡大
医薬製造受託、機能膜など需要堅調

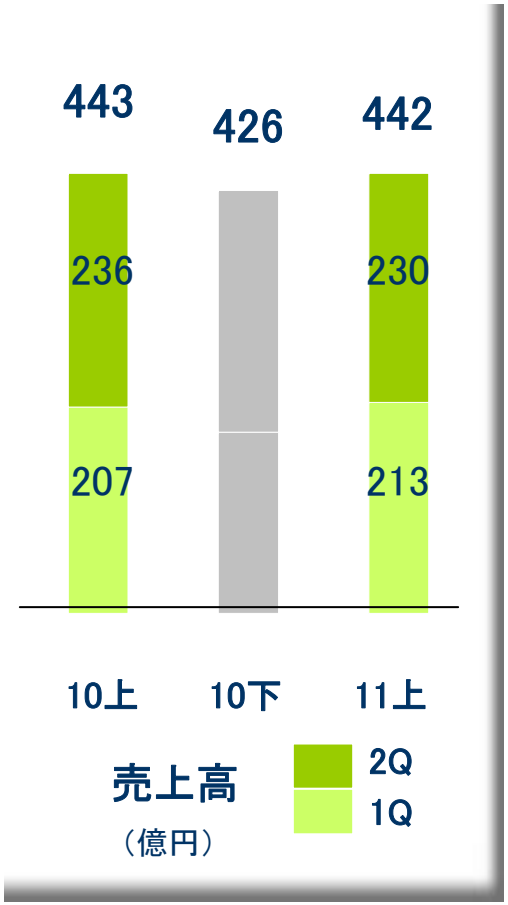


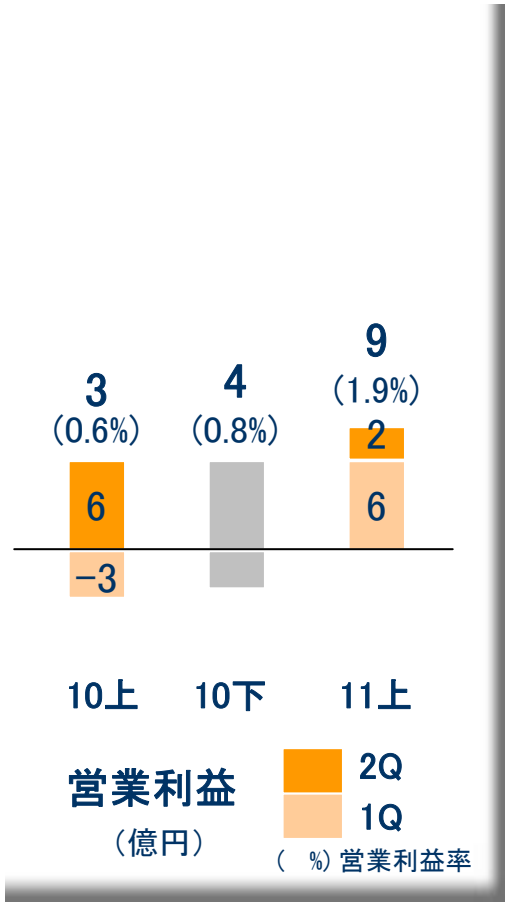


- **バイオ**
  血糖モニター用酵素は国内外で出荷堅調
- **医薬**
  受託案件の需要拡大で増設決定
- **合成薬中間体**
  数量減で減益

④ 衣料繊維

インナー・スポーツ向け機能素材は売上拡大
中東向けの特化生地は数量堅調も、為替で苦戦





- **東洋紡STC**
  インナー・スポーツ向け機能素材好調
- **羊毛事業**
  生産拠点統合で構造改革進展
- **アクリル繊維**
  特化商品により国内外需要確保

TOYOBO

Ⅱ．2011年度業績予想

（1）業績予想

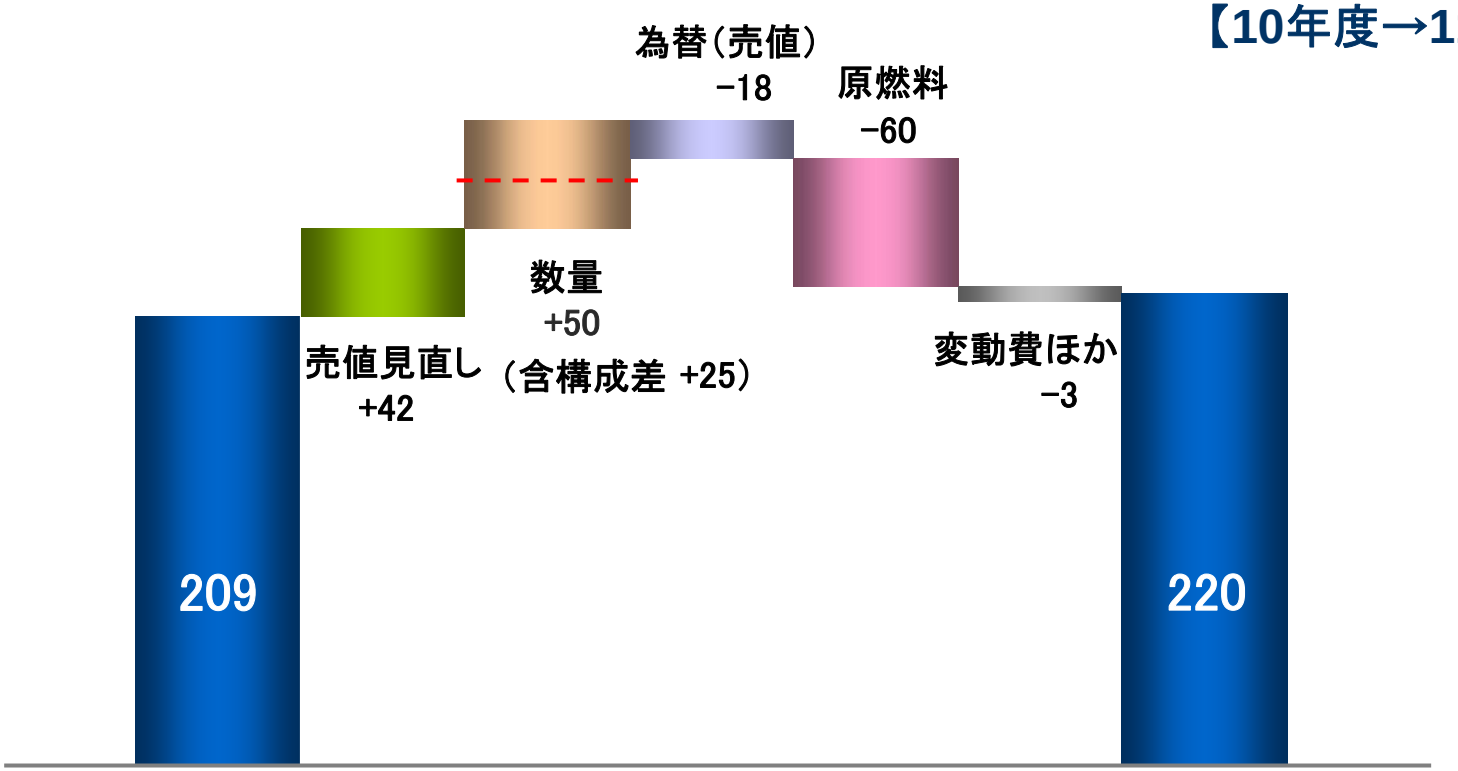
（億円）

	10年度実績	11年度予想			増　減	
		上	下		金額	%
売上高	3,406	1,781	1,769	3,550	+144	+4.2%
営業利益	209	110	110	220	+11	+5.3%
（営業利益率）	6.1%	6.2%	6.2%	6.2%	－	－
経常利益	170	101	89	190	+20	+11.5%
当期純利益	42	52	38	90	+48	+116.6%
EPS（円）	5.5	5.9	4.3	10.2	－	－
減価償却費	191	95	95	190	−1	−0.6%
設備投資	139	72	108	180	+41	+29.2%
為替レート（円/US$）	85	80	79	79		
国産ナフサ価格（千円/KL）	48	57	57	57		

TOYOBO

（2）営業利益増減要因分析（予想）

【10年度→11年度 】



	10	11
円レート（¥/$）	85	79
国産ナフサ（千円/kl）	48	57

TOYOBO

（3）セグメント別内訳（予想）

	売上高				営業利益			
	10年度	11年度予想			10年度	11年度予想		
		上期	下期			上期	下期	
フィルム・機能樹脂	1,270	708	672	1,380	125	65	58	123
産業マテリアル	715	343	377	720	49	24	28	52
ライフサイエンス	314	156	184	340	37	16	21	37
スペシャルティ計	2,298	1,207	1,233	2,440	212	105	107	212
衣料繊維	868	442	428	870	6	9	6	15
不動産・その他	239	132	108	240	23	11	12	23
消去・全社	－	－	－	－	−32	−15	−15	−30
合　計	3,406	1,781	1,769	3,550	209	110	110	220

TOYOBO

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社

All Rights Reserved